

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって一つとされ、共に主を礼拝いたしましょう。

風の吹くままに

受難節第三週目に入りました。どのようにお過ごしでしょうか。

それぞれが導かれているように、この時期をお過ごしください。

コロナ終息も近づいてきました。しかし、ウクライナとロシアによる戦争が、世界に影を落とします。

戦争という、国家の承認を得た合法的殺人という暴力は、何の解決ももたらさないことは歴史が証明していることです。にもかかわらず、人類は戦争という手段を行使することを止めることができません。

イエスこそ平和です。私も、あなたも、人間は平和ではありません。イエスが平和そのものなのです。

ホノルル教会というキリストの教会における小さな平和は、この世界の希望の光となります。私たちは、世界とつながっているのです。

今ここで、この礼拝で、この交わりで、イエスの平和を証詞しましょう。

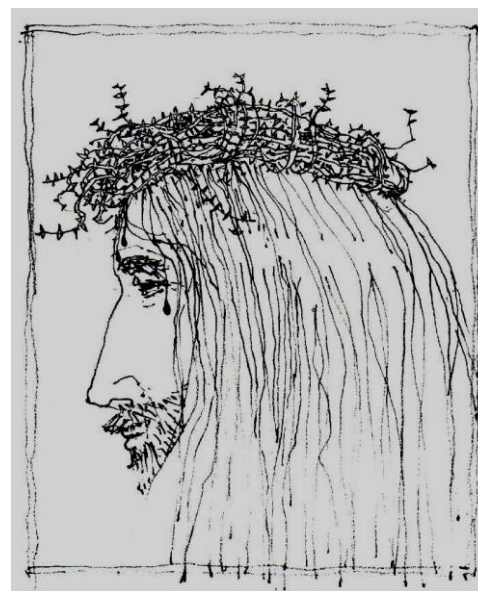
関真士牧師

当教会は、正統的なプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一教会とは一切関係がありません。カルトや宗教問題でお困りの方はご相談ください。

わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。—主のことば— それは災いではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。エレミヤ 29:11

週報

2022 月 3 月 20 日 Vol. 19 No. 12



HONOLULU CHRISTIAN CHURCH
ホノルル・キリスト教会

2207 OAHU AVENUE HONOLULU, HI 96822

日本語部オフィス 973-4335

事務局 office@honoluluchristian.church

関真士牧師 sekishinji89@gmail.com

2022年3月20日

礼拝開始5分前からは、心を静める時間です。他の方の祈り、
黙想の妨げにならぬよう席に着きましょう。

前奏 賛美 挨拶
Overture & Worship & Welcome

「主イエス神の愛」

「私たちは一つ」

「主の教会として」

「傷跡」

献金
Offering

祈禱
Prayer

宣教支援献金

聖書朗読
Scripture

エペソ書 2章 13節～19節

メッセージ
Message

「受難節第3週 十字架による平和」 関真士牧師

賛美
Worship Song

「いさおなき我は」

頌栄
Doxology

祝禱
Benediction

✠ 会堂礼拝は、朝8時45分から始まります。オンライン礼拝も継続して配信しています。

✠ 本日の礼拝では、宣教支援献金が持たれます。

✠ 本日の礼拝では、肥田仁司会さんによる讚美画の奉仕があります。

✠ 今週の祈禱会から、カンファランスルームでの集まりを再開いたします。ZOOMも継続します。

✠ 込山ミキさんは、本日の礼拝を最後に、23日に日本に帰国することになりました。新しい歩みの祝福を祈ります。本日の礼拝後、マウカハウスのガーデンで歓談の時間があります。

✠ マタエレ有子さんがホノルル教会が転入されました。HCC神の家族へ心から歓迎いたします。

✠ エリカ Ching さんのベビーシャワーは、3月27日の礼拝後に持たれます。10:30AM～12PM マウカハウス庭

✠ サンデースクールの奉仕者を募集しています。

✠ 祈禱会 水曜日、ZOOM-祈禱会 10:00am

✠ 教会ウィークリーニュースは、毎月曜日に配信されます。メールをチェックしてください。ニュースが届かない場合は、ウェブページからご覧ください。パスワードは、HCC2021。

✠ 平日、教会へ来られる方も、感染予防の為に予約が必要です。973-4345（ナンシー）まで連絡をしてください。

●スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れよう。

今日のメッセージ 受難節第三週 「十字架による平和」 エペソ書 2 章 13 節～19 節 関真士牧師

次週のメッセージ 受難節第四週「十字架の心」

ピリピ書 2 章 5 節～11 節 関真士牧師

●分かち合いのポイント

- ① ショーペンハウアーの「ヤマアラシのジレンマ」を聞いてどう思いますか？ 自分の内にある「棘」について考えてみましょう。

- ② 私たちが自分の内に「敵意という壁」を持つとき、それは「棘」となって相手を傷つけるようになります。しかし、実は傷つけているのは、相手よりも先に、相手との間に立ってくださるイエスを傷つけているのです。このイエスの十字架の痛みを感じるとき、壁が崩れていきます。あなたは、イエスの十字架の痛みをどのように感じているのでしょうか。

- ③ 「イエスこそ、私たちの平和」です。イエスは、平和について教えただけではなく、平和そのものになってくださいました。一緒に「平和の祈り」の祈りの言葉について感じたことをシェアしましょう。

●賛美の御言葉 詩篇 47 篇 5 節～7 節 Psalm

神は上られる。喜びの叫びの中を。主は行かれる。角笛の音の中を。ほめ歌を歌え。神にほめ歌を歌え。ほめ歌を歌え。私たちの王にほめ歌を歌え。まことに神は全地の王。ことばの限りほめ歌を歌え。

God has gone up with a shout, the LORD with the sound of a trumpet. Sing praises to God, sing praises! Sing praises to our King, sing praises! For God is the King of all the earth; sing praises with a psalm!

エペソ人への手紙 2章 13~19節

しかし、かつては遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。

実に、キリストこそ私たちの平和です。キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し、

様々な規定から成る戒めの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、この二つをご自分において新しい一人の人に造り上げて平和を実現し、

二つのものを一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、敵意を十字架によって滅ぼされました。

また、キリストは来て、遠くにいたあなたがたに平和を、また近くにいた人々にも平和を、福音として伝えられました。

このキリストを通して、私たち二つのものが、一つの御霊によって御父に近づくことができるのです。

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

Ephesinas2:13-19

¹³ But now in Christ Jesus you who once were far off have been brought near by the blood of Christ. ¹⁴ For he himself is our peace, who has made us both one and has broken down in his flesh the dividing wall of hostility ¹⁵ by abolishing the law of commandments expressed in ordinances, that he might create in himself one new man in place of the two, so making peace, ¹⁶ and might reconcile us both to God in one body through the cross, thereby killing the hostility. ¹⁷ And he came and preached peace to you who were far off and peace to those who were near. ¹⁸ For through him we both have access in one Spirit to the Father. ¹⁹ So then you are no longer strangers and aliens, but you are fellow citizens with the saints and members of the household of God,

「平和の祈り」アッシジの聖フランシスコ

ああ主よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。

憎しみのあるところに、愛をもたらすことができますように。

争いのあるところに赦しを、

分裂のあるところに一致を、

疑いのあるところに信仰を、

誤りのあるところに真理を、

絶望のあるところに希望を、

悲しみのあるところに喜びを、

闇のあるところに光をもたらすことができますように。

ああ主よ、わたしに、

慰められるよりも、慰めることを、

理解されるよりも、理解することを、

愛されるよりも、愛することを求めさせてください。

わたしたちは与えるので受け、

赦すので赦され、

自分自身を捨てることによって、永遠の命に生きるからです。 アーメン